

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

1年 いくつと いくつ □ 20～31

●10までの数の合成・分解の勉強をします。

「10はいくつといくつに分けられるか」「いくつといくつで10になるか」を考えることは、これから始まるたし算やひき算の基礎になる大切な勉強です。10個のあめを用意し、片手のあめを見せてもう一方のあめの数を当てさせるゲームなど、お子さんが興味を持つように工夫しましょう。



慣れるまでは、おはじきなどの「物」をさわりながら考えましょう。

2年 ひき算のひっ算、長さのたんい □ 24～48

●2けたの数のひき算の筆算ができるようにします。

$$\begin{array}{r} 45 \\ - 18 \\ \hline 27 \end{array}$$

くり下がりに
気をつけてね。



- ① 位をたてにそろえて書く。
- ② 一の位の計算をする。
5から8はひけないので、
十の位から1くり下げる。
 $15 - 8 = 7$
- ③ 十の位の計算をする。
一の位に1くり下げたの
で3。
 $3 - 1 = 2$
- ④ 答えは27

●長さの単位「cm」、「mm」を習います。

3年 わり算 □ 34～44

●わり算の意味を知り、わり算の答えがもとめられるようにします。

$$12 \div 3 = 4$$

〈12個を3人で同じ数ずつ分ける〉

○○○○|○○○○|○○○○

3のだんの
九九を使って
もとめるよ。

〈12個を1人に3個ずつ分ける〉

○○○|○○○|○○○|○○○



ポイント かけ算九九を覚えていないと
できないので、しっかり復習
しておきましょう。

4年 何十、何百のわり算・わり算の筆算 □ 36～50

●(2, 3けたの数)÷(1けたの数)のわり算の筆算ができるようにします。かけ算九九を何度も使うので、まちがえないように注意しましょう。

〈計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 65 \\ 9 \overline{) 585} \\ \underline{54} \\ 45 \\ \underline{45} \\ 0 \end{array}$$

- ・ $58 \div 9 = 6$ あまり4
- ・ $45 \div 9 = 5$

たてる→かける→ひく→
おろすの順に計算しよう。



5年 小数のかけ算 □ 40～49

●小数をかける筆算のしかたができるようにします。

ポイント

〈計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 1.5 \text{ ...1けた} \\ \times 4.3 \text{ ...1けた} \\ \hline 45 \\ 60 \\ \hline 6.45 \text{ ...2けた} \end{array}$$

- ① 小数点がないものとして計算する。
- ② 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけた数の和だけ、右から数えてうつ。

小数点のつけ方が
ポイントだよ。



小数のかけ算は、とても大事だから、
もう一度ポピーで復習しようね。

6年 分数のかけ算とわり算、分数のかけ算 □ 34～50

●分数×整数、分数÷整数、分数×分数の計算ができるようにします。

- ① $\frac{b}{a} \times c = \frac{b \times c}{a}$
- ② $\frac{b}{a} \div c = \frac{b}{a \times c}$
- ③ $\frac{b}{a} \times \frac{d}{c} = \frac{b \times d}{a \times c}$

分母どうし、分子
どうしでかけます。

計算のとちゅうで
約分できるときは、
約分してから計算
するとかんたん!

